

ク롬活用家庭学習実践報告（2学期）

☆2年生

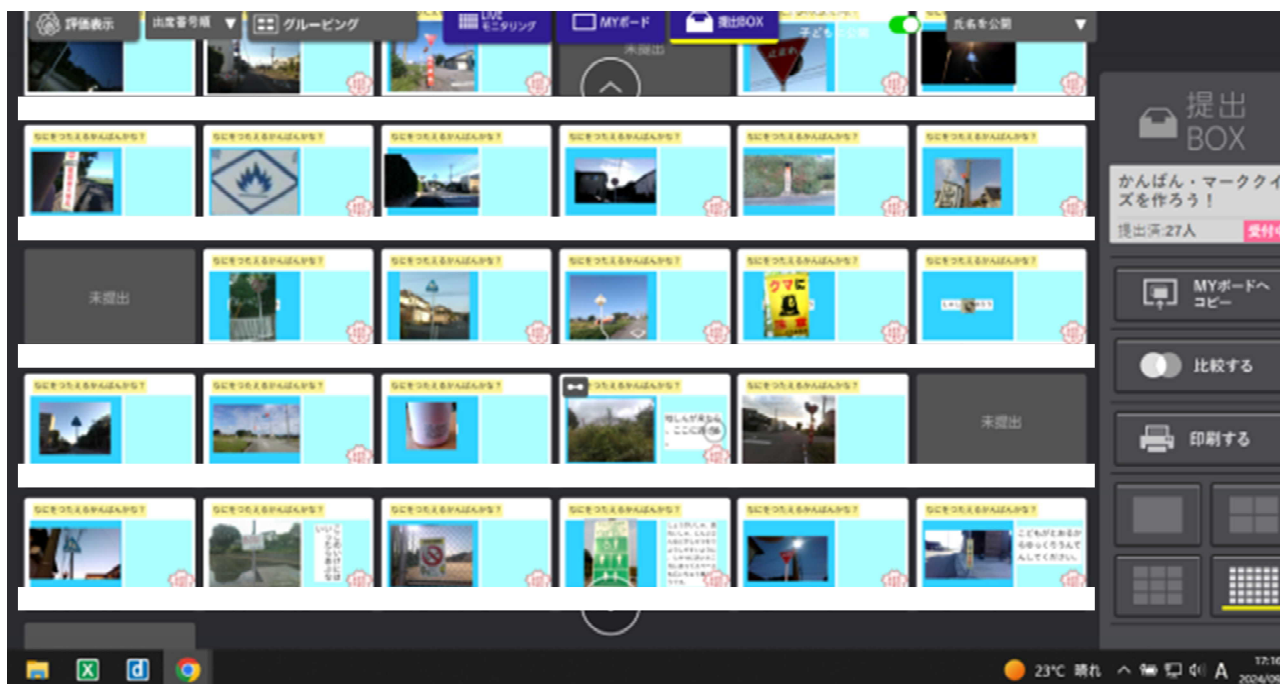
○家庭学習の内容詳細（ICT活用の場面）

- ①国語「身の回りのものを読もう」の学習で、身の回りにある看板やマークを調べ、写真で撮影し、オクリンクで提出する。
- ②友達が提出した看板に、どんな意味があるのかを考え、答える活動を行う。

○ICT活用のポイント

- ・生活の中の看板やマークに意識を持ってほしく、学校の中にはないものを探せるようにした。生活の中には様々な看板やマークがあり、それぞれに工夫がある。「文字の色」「文字の大きさ」「絵の使い方」など工夫を探すこともできる。

○家庭学習（ICT活用）の写真掲載



児童にとってのよき
学校外で自分で見つけたものを、みんなと共有することができる。
友だちが見つけたものも見ることで、
これからもっと見つけてみようという意欲にもつながる。

☆3年生

○家庭学習の内容詳細（ICT活用の場面）

算数の単元「あまりのあるわり算」の計算の仕方を動画で説明をした。

○ICT活用のポイント

式や答えを書くだけでなく、あまりをどうするのかを、根拠をつけて言葉で説明することで、より理解を深めることができる。また、それを教師が確認することで、児童一人ひとりの理解度をはかることができる。

○家庭学習（ICT活用）の写真掲載



☆4年生

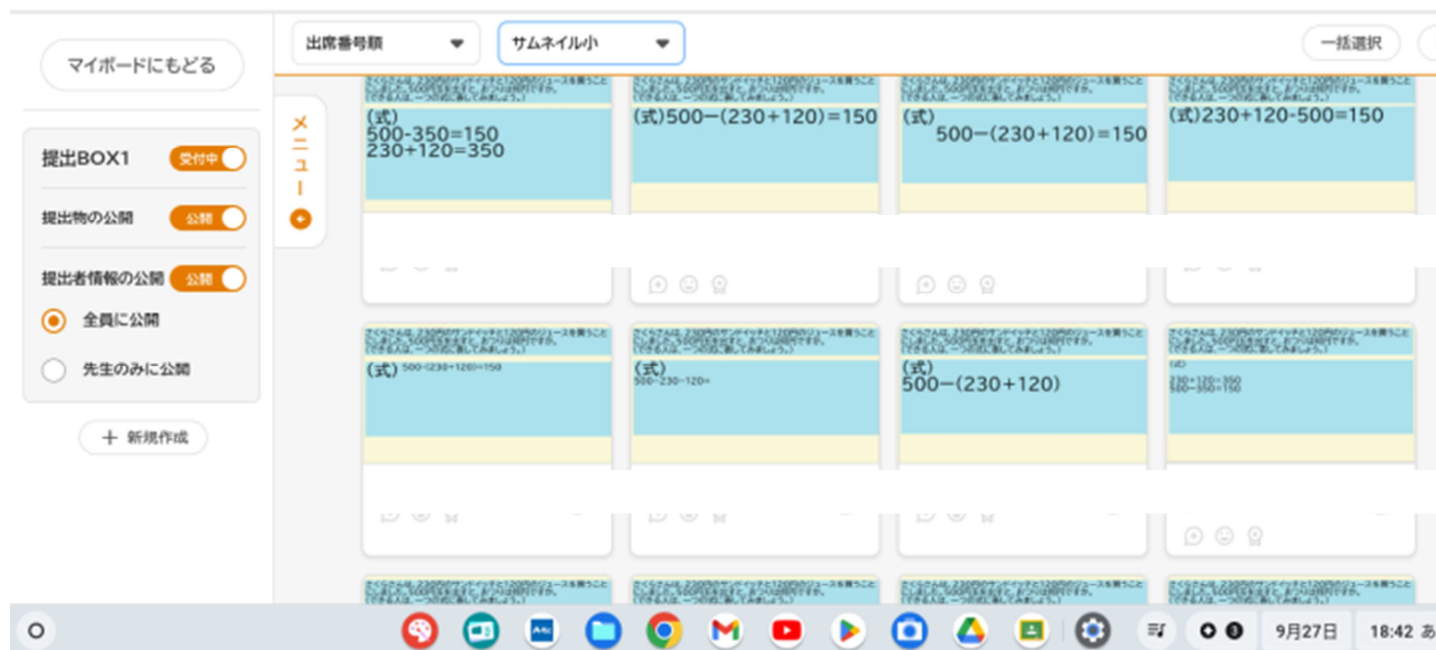
○家庭学習の内容詳細（ICT活用の場面）

算数において、反転学習を2度行い、ワークシートに考えを記入した後、オクリンクプラスに自分の考えを提出するという課題を出した。

○ICT活用のポイント

- ・教師は事前に児童の考えを知ることができ、授業の組み立て方を考えることができる。
- ・提出ボックスを授業開始すぐに公開にすることで、自分と同じ考えの友達がいるかを知ったり、違う考えの友達がどんな考え方をしているのかを考えたりすることができる。

○家庭学習（ICT活用）の写真掲載



教師にとっての良さ：事前に児童の考えを見ることができたり、理解度を図ることができることで、個別の対応に活かすことができる。
児童にとっての良さ：じっくりと問題に取り組むことができる。また、他の子の考えを、簡単に見ることができるため、自分の考えが広がったり深まったりする。

☆5年生

○家庭学習の内容詳細（ICT活用場面）

①社会の「水産業のさかんな地域」で日本はよい漁場であることを学習した。
②それぞれの魚のとれる場所、魚のとりかた、外国産の国の3項目について調べまとめていく。

○ICT活用のポイント

・魚のとりかたについて調べていく中で、様々なとりかたがあることを知ることで、次の時間の漁業の種類学習の導入につなげることができる。オクリンクプラスを使い調べ学習を行った。

○家庭学習（ICT活用）の写真掲載

マグロ

とれる場所

魚のとり方

- ・延縄漁法
- ・巻き網漁法
- ・一本釣り漁法

外国産の国

- ・スペイン
- ・メキシコ
- ・オマーン

サーモン

とれる場所

魚のとり方

養殖、陸上養殖

外国産の国

- チリ
- ノルウェー
- デンマーク
- フランス
- スペイン
- イタリア及びイラン
- フィンランド

ハマチ

とれる場所

魚のとり方

船釣りのシーズンは初夏～冬。また、夏～秋にかけては磯や堤防付近まで回遊してくるので、岸からでも狙うことができる。

外国産の国

メキシコ

児童にとってのよさ
自分で調べ学習を行い、一枚のシートにまとめることで、場所・とり方・外国産の3観点を整理し、学習に向かう準備ができる。


○家庭学習の内容詳細（ICT活用の場面）

- ① 図工で制作した作品を家庭に持ち帰り、スライドに写真を添付・ふり返りの記入・友達作品にコメントを記入する。
- ② 体育の時に撮影したハードルを跳ぶ様子と NHK for school の動画を見比べ、次回の体育時に意識することや改善点などを分析し、Google フォームに回答する。回答スプレッドシートも閲覧できるようにした。

○ICT活用のポイント

- ① ・学校では真っ暗な部屋を準備して作品を鑑賞することが難しく、簡易的な鑑賞を行った。児童の方から、「家だと暗くて、部屋全体に光が反射して楽しそう」という声があがり、家に持ち帰り夜に撮影を行った。夜に撮影することで作品の細かな工夫が輝いたり、保護者と一緒に楽しみながら鑑賞したりすることができた。
- ・写真添付の締め切り（日曜日の午前まで）を設け、その後は同じ班の作品にコメントを残すことで、授業内で鑑賞する時間を減らすとともに、クラス全体の作品を見る時間を十分に確保することができた。
- ② ・暑い中、外で自分の跳ぶ動画を見る時間を十分に確保できず、砂ぼこりなどの影響で使える場所にも限りがあったりする。そのため、端末で撮影した動画と NHK for school の動画を2画面に分割しながら視聴することで比較することができた。

○家庭学習（ICT活用）の写真掲載

<p>【作品の題名】夜空の星</p>  <p>学校</p> <p>自宅</p>	<p>【工夫したところ】 光をできるだけ使い、反射を利用するように、水のなにも入れなかったところ。夜の星空をイメージして、紫と金色だけを使って、暗いイメージと明るいキラキラした感じを表現したところ。星をのりやテープではなく、水でくっつけて銀色の圈？に必要なものだけをつけたところを工夫しました。</p> <p>【暗い部屋で見ての感想・改善点】 ペットボトルの凹みでビルの光のようになり、後ろに星が見えて夜の夜景にも見えて面白いなと思いました。しかし、光らせすぎたところが改善点かなと思いました。もう少しペットボトルに細工をしておく良かったのかなと思いました。しかし全体的に見るときれいな作品だなと思いました。</p>	<p>出席番号を選びましょう。*</p> <p>選択</p> <p>自分の名前を選びましょう。*</p> <p>選択</p> <p>自分のハードル走とNHKの動画を見て、直したいところや改善点を記述しましょう。</p> <p>自分の走り方・飛び方は○○だったけど、動画では○○のように飛んでいたの、自分は○○のように飛んでみたいと思った。そのために、...</p> <p>といったように、具体的に何が良かったのか、何をするのかを入力しましょう！！</p> <p>回答を入力</p>
---	--	--

自分は飛ぶ前にスピードを緩めてたけど、動画では、スピードを上げて勢よく飛んでいたの自分もいつも同じようにはりたくないです。飛ぶときに体を使うことはあまりし飛ぶときの態(タイミング)はよかった。飛んでいるときのたいせいがよくなかった。動画では肩幅が伸びているし足を前にきれいにしていたけど、それができていなかったが自分の走り方、飛び方はハードルの近くで飛んでいたけど動画では遠くで飛んでいたからスピードをもっと出して挑戦したい。

私はハードルの前で一度止まってしまった時があったけど動画ではスピードを出していたのでハードルをぬがらずに飛んで5.0m走のタイムとブライマイ15くらいで走れるように自分の飛び方は真上に飛んでいたけど、動画では、突き出すように飛んでいた。だから転ぶつもりで飛びたい。

動画の走り方、飛び方は少し前がみで、足が斜めの上がついていたけど、自分の走り方は不格好で足が垂直に上がってて変でした。

足を前に出す なるべく遠くから飛ぶ

飛び方は、動画と比べて飛びすぎていて時勢をロスしていたり、動画ではしっかりと重心を真ん中にしていて自分は、右側に重心が傾いていたので、つぎ自分の飛び方は体が前にたおれていなかったけど、動画では体を前にたおして飛んでいたの自分も体を前にたおして飛んでみたいと思った。そのために、自分の飛び方は手を前に出して飛んでいたけど、動画では手を前に出して飛んでみたいと思いました。そのために、自分の飛び方で、飛び方は、あまり高く飛べなかったけど、動画では、じょうたいを前にして高く飛んでいたの、自分はそのように飛んでみたいと思いました

自分のハードル走を見ると、ハードルの遠くからではなく近くから飛んでいるし、はじめに飛んだ足を前に出していなかったけど、動画では、同じ歩幅でハードルがハードルをしたときは、

- ・足を横にしていない
- ・3歩でハードルを飛んでいない
- ・手を前に出していない

などたくさんできていないところがあったけど動画では、自分ができていないところができていました。なので、ハードルを飛んだ後足を小刻みに走らないよ

アンケート送信後に次回の練習時に自分が意識したいキーワードに色を付けさせ、同じキーワードが重なっていることや他の大切なところを全体で共有・確認し、次回の練習時にスムーズに説明できるようにした。

児童にとってのよさ
学校ではなかなかできないことを家で行い、それを共有することができる。また、家だと自分の好きなだけじっくりと見て、考えることができる。
体育では、自分の姿を客観的に見ることができ、お手本と自分の跳び方の違いを視覚的に確認することができ、次の練習に活かすことができる。

☆クロム家庭学習の現状☆

・低・中学年は写真機能を使って、学校ではとれないものを共有したり、動画機能を使って計算の仕方を説明したりしていた。ドリルだけで活用するのではなく、授業の延長や復習として、クロムブックを使うことができる。それによって、授業の内容を家でもう一度確認したり、授業で習ったことを日常生活に活かすことができる。また、計算の仕方を説明することで、児童の定着を確かめることができる。また、反転学習を取り入れ、家でオクリンクプラスに記入することで、家でじっくりと好きなだけ考えることができ、児童の理解につながった。

・高学年では、オクリンクプラスやスライドやフォーム、NHK for School を使っている。事前学習として、オクリンクプラスの様々な機能（ピン、リンクなど）を使ってまとめることで、学習に向かう準備ができる。図工では、作品を家でじっくりと見て鑑賞カードを書くことで、作った本人も、それを見た人もより作品のよさに気づくことができる。また、なかなか授業中にゆっくりとみんなの作品を見る時間が取れないが、スライドで残すことによって、時間をかけて読むことができる。また、体育で、お手本の動画と自分の姿勢を見比べて、改善点を書きだすことで、自分の姿勢を客観的に見て改善していくことができ、効果的である。